



東風解凍 はるかぜこおりをとく



暦のお話を読むと、日本には七十二候(しちじゅうにこう)という72の季節があります。

季節ごとの鳥や虫、植物、天候などの様子が72の時候の名前になっており、約5日ごとの自然の変化を知ること、きめ細かな季節の移り変わりを感じるができます。

2024(令和6)年は、元旦からいきなりの能登半島地震で日本列島が大きく揺れ、被災地からのニュースが途切れなしに流れてくる中、羽田空港では航空機事故。落ち着かない年の初めになりました。

そして2月。東風は春風という意味で、中国で古くから東が春を表すことからきています。春の始まりを知らせる七十二候の第一候目です。

そろそろ梅の便りも届きますね。

東

トウ・ひがし・あずま
底がない筒状のふくろに物を入れて、両端をひもで結んだ形にかたどり、ふくろの意味を表す。借りて、方角のひがしの意味に用いる。

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花
あるじなしとて春を忘るな

拾遺和歌集 雑春 一〇〇六番

わが家の梅の花よ。東風が吹いたら、私のいる大宰府まで匂いを届けておくれ。主人がいらないからと言って、春を忘れてはならないよ。

新しい本がたくさん入りました！

2023年度明石市のブックスポットパワーアップ助成金を活用して、新しい本を購入しました。約100冊の本を中央集会所1階のブックスポットに配架しています。

絵本もたくさん！



『大ピンチすかん』
『おばけすかん』
『ノラネコぐんだん』
『しろくまくん』
『コールテンくん』
など、子どもたちに大人気の絵本や小中学生向けの本も配架しています。

ミセスに大人気のハルメクもあります！



書店では販売していない『ハルメク』寄贈本の他に、2024年1月号から順次配架しますよ。

2階にも書架が登場！



2階エレベーター前ロビーに書架を新設。ソファーに座ってゆっくりとお過ごください。昭和レトロの写真集『昭和タイムズ』を配架。皆さんが生まれた頃の写真や記事が掲載されているかも。

囲碁サークルの方も「なかなかええなー、前よりずっとええと思うよ」との声。興味津々で読んでおられました。